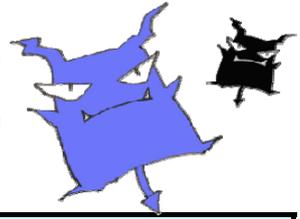


平成22年3月

京都市こどもの感染症



★ ☆ 去年の今ごろ、京都市で多かった感染症

1 位	2 位	3 位
インフルエンザ(*)	感染性胃腸炎	水ぼうそう(水とう)
高熱、全身のけんたい感、筋肉痛などが主な症状ですが、合併症を起こす場合があります。気になる症状があれば、事前に医療機関へ相談のうえ、マスクをして、受診しましょう。	発熱、下痢(げり)、おう吐などが主な症状です。下痢やおう吐が続くと脱水症になりやすいので、水分をこまめにとりましょう。	伝染力が強く、肺炎・脳炎・ずい膜炎などの合併症を起こす場合もあります。予防接種(1歳以上、1回接種)は任意ですが、集団生活をする場合は接種されることをお勧めします。発病したら、すべての発しんが「かさぶた」になってから登校(園)しましょう。

(*) 去年の3月ごろは、季節性インフルエンザ(特にB型)が流行し、報告数も多くなっていましたが、今シーズンは、新型インフルエンザが大半を占め、11月にピークを過ぎ、2月12日現在、報告数はかなり少なくなってきています。

麻しん・風しんの予防接種(MRワクチン)はお済みですか？

★ 予防接種クイズ (答えは下にあります。)

問1 麻しん、風しんに対して、十分な免疫をつけるためには、MRワクチンを2回接種する必要がありますか？

問2 MRワクチンを無料で接種できる年齢は、決められていますでしょうか？



第1期

1歳のお誕生日のプレゼントにしましょう!

生後12月から24月に至るまでの間にある赤ちゃんは**無料**



第2期

小学校入学前に2回目をしましょう!

幼稚園の年長児に相当するお子様は**無料**

平成22年3月末までは、

平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの方が対象です。

接種を行うには、京都市予防接種協力医療機関(※保健医療課のホームページに掲載しています。)への**事前**の予約が必要です。また、接種対象年齢以外の方は、**自己負担(1万5千円程度)**が必要となりますので、ご注意ください。

答1: あります。1回だけの接種では、免疫が上手くつかなくなったり、徐々に低下することが考えられます。このため、十分な免疫をつけるために、2回接種が必要です。

答2: 決められています。第1期は1歳、第2期は、幼稚園の年長児に相当するお子様が無料の対象です。